

## ○○「圧入マット式根固工法」<急斜面・高所での画期的な根固め工法>○○

圧入マット式根固工法は、基礎地盤を確保するための床堀や、コンクリート用型枠を不要とするために開発しました。

図-1.1.1は、マット内にグラウト(加圧)した状態をイメージしたものであり、これを図-1.1.2のように積み重ねながら所要箇所の間詰めを行います。

マットの寸法は、長さ(50cm)、幅(30cm)、高さ(15cm)となります。

内部には、それぞれの方向に寸法調整具を備え、マット表面に計画的に凹凸を形成させることで、間詰箇所の排水を可能ないようにしています。

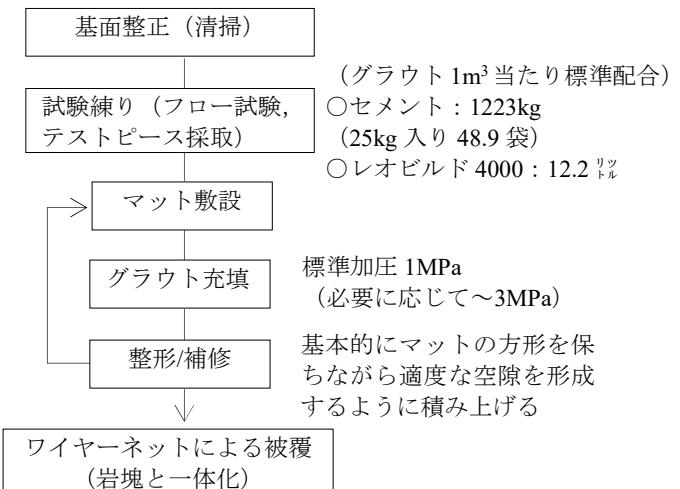


図-5.2.1 施工フロー図

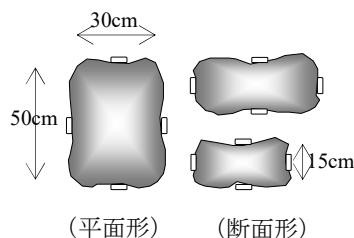


図-1.1.1 根固マット(グラウト状況)

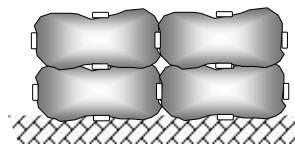


図-1.1.2 根固マット組立図

図-1.1.3は、加圧充填によって設置地盤が締め固められ、地盤支持力を高める仕組みを示します。

写真-1.1.1のような傾斜地では、図-1.1.4のように、あらかじめワイヤーネットを根固計画線に合わせてセットし、これの内側に敷き並べたマットを加圧充填することで、構築することができます。

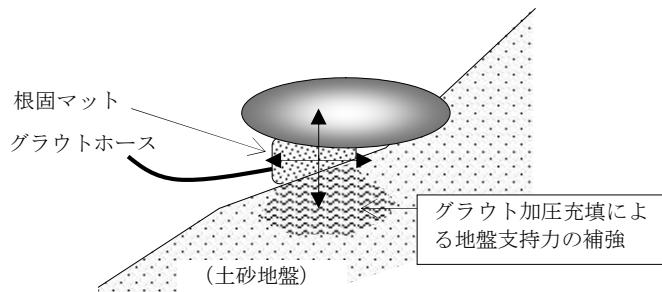


図-1.1.3 根固マットにより地盤支持力を増強する仕組み

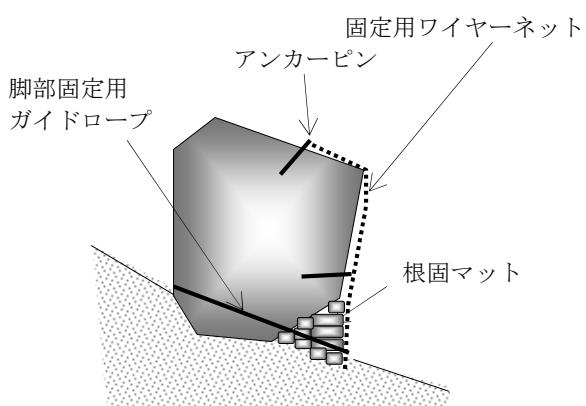


図-1.1.4 傾斜地での根固方法